第8号

兵庫県のり漁場環境情報（東播海域　臨時号）

2026年11月2日発行

兵庫のり研究所

海域全般に、大型珪藻のBellerochea horologicalis(らせん状)は確認されますが、発生量は大きく減少しています。窒素は、海域地先では下げ潮～干潮での調査であったことから陸水の影響が強く見られ、概ね５～１０μg-at/Ｌ台、林崎新漁場東部沖筋で７～９μg-at/Ｌ台、その他の海域沖筋で２～４μg-at/Ｌ台と回復傾向にあります。

（水温）漁場内平均22.6℃（平年比1.7℃高く、昨年比0.2℃低い）。（塩分）平均31.76psu。前回（32.13）より0.37psu低い。

（珪藻、栄養塩）

Bellerochea horologicalis発生量は、海域全般に30細胞/ml以下(前回値：50～200細胞/ml)であり、タラシオシラ群体も確認されたが発生量は少ない状況であった。海域全般に植物プランクトンは少なくなってきています。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水　温	23.7	22.6	20.9	22.8
窒　素	3.4	5.4	5.4	4.6
リ　ン	0.36	0.35	0.60	0.60
				(10/28)

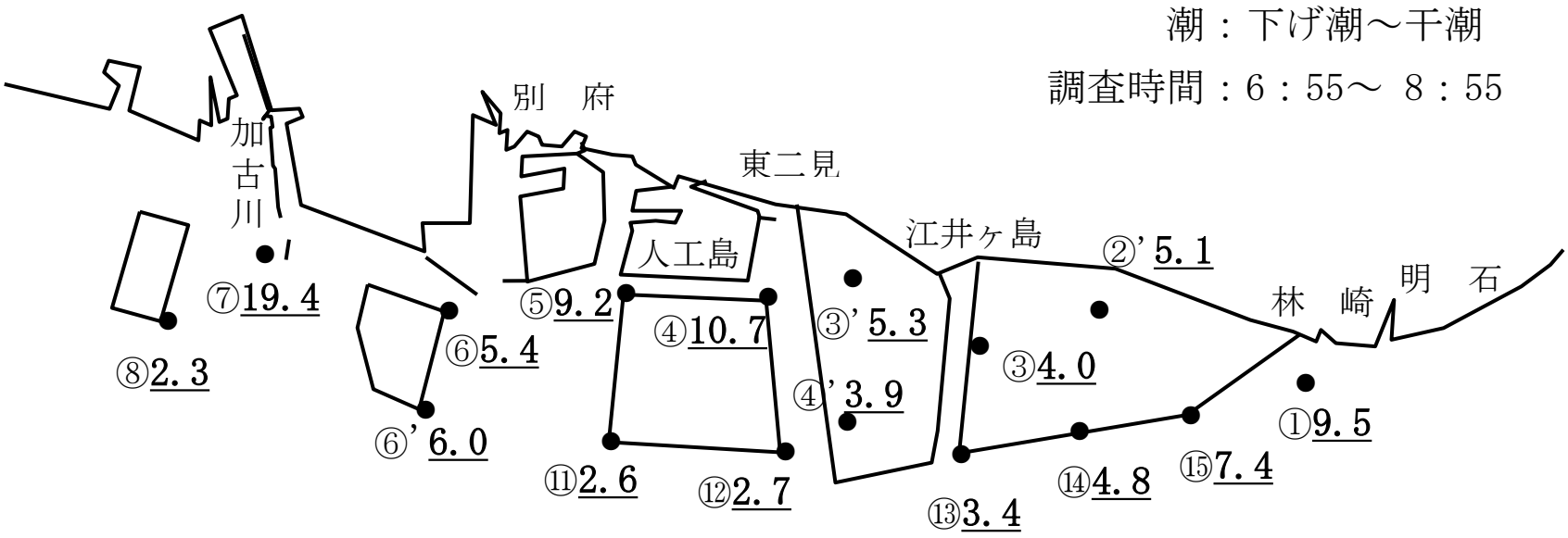
※窒素の平均は④を除く

2026年11月1日調査

栄養塩（窒素）図

潮：下げ潮～干潮

調査時間：6：55～ 8：55



水温図

